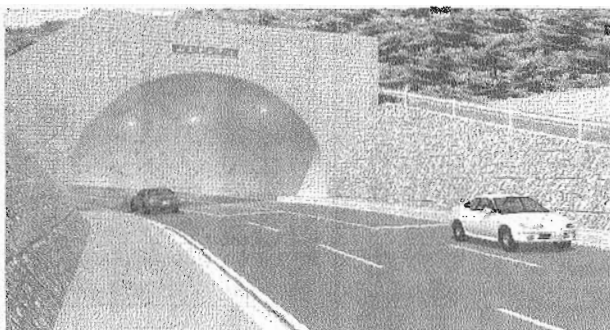


田上広木トンネル(鹿児島市) 安全祈願祭

工事の無事完成祈る

田上広木トンネルの完成予想図(上)と、力強く穿初めの儀を行う
共同企業体の代表者＝鹿児島市田上町の現地で



田上西別府線田上広木トンネル(仮称)工事の安全祈願祭は14日、鹿児島市田上町の現地で小牧建設・こうかき建設・森山土木JVの主催で執り行われ、関係者約70人が出席して工事の無事故無災害と工期内の完成を祈願した。

赤崎義則鹿兒島市長が刈り初めの儀、上門秀彦同市議会議長が鍬入れの儀、小牧隆社長、幸加木輝征社長、森山睦夫社長が穿初めの儀をそれぞれ力強く行ったほか、赤崎市長や町内会関係者、施工者らが神前に玉串を捧げて、工事の無事故無災害を祈った。

元住民が待ち望んだトンネルに着工できることはうれしい限り。共同企業体の皆さんは無事故無災害、安全施工で素晴らしいトンネルを完成させてほしい」と言葉を寄せた。

同トンネルの建設地は、鹿児島市田上町の県道永吉入佐鹿児島線広木小学校前交差点付近。工事延長は200m（トンネル

11.8m、明かり部82mで、幅員7～13㍍（トンネル車道部7～12m、トンネル歩道部0.75～2m）、内空断面61～86平方㍍。今回の請負金額は5億5300万円で小牧建設・こうかき建設・森山土木JVが公募型指名競争で落札した。工期は12月15日。

県薦土工業連安全祈願祭

今年1年の無事故・繁栄を

県鷹土工業連合会（林民郎会長）は11日、鹿児島市の荒田八幡神社で新年の安全祈願祭を執り行い、会員や関係者ら約40人がそろいのハッピー姿で参加し、今年1年の無事故・無災害と繁栄を祈願した。

祈願祭の神事では、祝詞奏上、清め払い等に続き、林会長が玉串を捧げ、現場の安全や無事故無災害と会員企業の繁栄を祈った。つづがなく神事が



そろいのハッピー姿で写真に納まる会員ら
＝鹿児島市の荒田八幡神社で

終了した後、林会長は

「厳しい経済状況であるからといって、安全管理をおろそかにする訳にはいかない。安全作業主任者講習や雇用管理者研修などを通して安全管理への意識づくりの高揚に励むとともに、技能士大会の開催や資格取得の増加を目指しての勉強会の開催など、さまざまな活動を通して同連合会の飛躍を図っていきたい」と抱

このあと、会場をベイサイドガーデンに移して来賓の谷川修一鹿児島市長、中島蔵人前鹿児島市長らも出席して新年会が行われ、連合会、若鷲会の現況報告や今後の目標等についての報告を行い、今年1年の意気込みや決意を新たにした。

新入会員は次の通り。

(株)大城　みの田組

南薩造園協會新年會

會員相互で一致團結

南薩造園協會（中崎靜人會長）は10日、枕崎市の一福で来賓をはじめ、會員各社の代表ら約15人が出席し、平成15年の新年会を開いた。出席者らは、談笑しながら會員相互で一致団結し、苦境を乗り切っていくことなど、更なる結束を誓った。

冒頭、中崎會長が依然として業界を取り巻く環境は厳しいが、會員が一致団結して事にあたれば良い方向に進んで行けると思う。今後、相互協力で苦境を乗り切っていく」と挨拶。

また、来賓の神園征枕、崎市長と谷上幸男、坊津町

長が「大変厳しい年明けとなったが、厳しい時こそ互いに研さんし、今まで以上の技術・技能の向上を図り、自助自立に努めなければならぬ。今後、地域に根差した造園業として活躍することを祈念したい」、「後に続く後継者育成をして行くことが、これからの地域活性化につながると思う。これからも、より一層地域へ貢献してもらえよう」と尽力願っていた」



更なる結束を誓った新年会＝枕崎市の一福で

続いて、乾杯の前に同協会の発展・繁栄に貢献、先に惜しまれながら死去した、樹木愛好家の外園月夫氏（尙加世田緑化センター）に対し出席者全員で黙とうを捧げた後、田中伝二副会長の音頭で乾杯し歓談に入った。

出席者らは、杯を酌み交わしながら談笑し、会員相互で一致団結し、苦境を乗り切っていくことなど、更なる結束を誓った。

建災防栗野分会安全祈願祭

無事故無災害の継続を

建災防県支部栗野分会（佐々良忠満分会長）は14日、始良郡栗野町の中央公民館で、第26回安全祈願祭並びに防災大会を開き、会員43社、約220人が参加して無事故無災害の継続を誓い合った。

安全祈願祭では、佐々良分会長を筆頭に、来賓の木山裕雄建災防県支部代表部長、佐々良町長、工務事務所菱刈出張所長、大内田昭和栗野土木事務所長、星野清和加治木耕地事務所長、的場康一加治木農林事務所長、久留須修栗野町助役、伊作辰吉吉松町収入役、坂元義信横川町助役、曾山康男牧園町助役、岩澤幸男安全管理アドバイザーが神前に玉串を捧げ、佐々良

またた防災大会では、各種表彰の後、佐々良分会長が「当支部の無災害継続、安全管理意識は関係機関からも高く評価されている。これまでの努力を無駄にすることなく、各社トップを先頭にあらん限りの知恵を絞って、絶対に災害を起こさないという固い決意で難局を乗り切っていこう」と挨拶し、木山副支部長が川畑俊彦防災防県支部長のメッセージを代読した。

来賓を代表して玉利署長が「被災者の方々の生活再建に努めていただくこと、災害撲滅に努めていただくこと、等とそれぞれの立場から祝辞を寄せ、出来健二郎労務委員長が、力強く大会宣言を行った。

田上俊廣副分会長のリードで万歳三唱を行った後、山口克典副分会の閉会の言葉で、大会は無事終了した。

分会長表彰は次の通り。

安全対策優秀賞(有)大管工業、本機動機又安

新春洋画
3人展
トライア

絵の好きな仲間3
(下野公正 眞農業・村振興協会専務理事
梶原知治 眞住宅供給社専務理事、黒岩紘
ふれあいプラザのな
な館副館長)が20
3年を機に一念発起
初めての油彩画展「
003年新春洋画3
展 トライアッド展
」が10日、鹿児島市の

新春洋画
新人展
トライアツド展

多彩な出展に感動

で開かれ、多数の来場者が訪れ、多彩な出展画に見入っていた。

オープニングセレモニーでは、3人を代表して下野専務理事が「絵を描き初めて30年近くになります。趣味として油絵を学び、県美展や南日本美術展などにも挑戦してきました。3人も鑑賞者として新たな役割を担って参ります」と挨拶。

続いて、県住宅供給公社の大久保博志理事

挨拶。



Three men in dark suits are standing side-by-side, smiling. The man on the left is holding a small object, possibly a gift or a commemorative item. They are standing in front of a light-colored wall with some indistinct markings.

同3人と大久保理事、長がテープカットを行い、オープンした。

なお、トライアッド展は24日まで同ギャラリーで開催される。時間は午前10時から午後5時まで。

テープカットが行われたセレモニー